



高 浜 町 の 児 童 ・ 生 徒 の 学 力 や 生 活 習 慣 は ？

【高浜町教育委員会】

●調査概要

- 調査実施日 令和7年4月17日(木)
- 実施人数 小学校6年生 80名／中学校3年生 83名
- 実施教科 【小学校】国語、算数、理科 【中学校】国語、数学、理科

※調査結果について 教科や出題範囲が限られていることから、本調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部分です。

教科に関する調査結果概要および傾向

【小学校】

- 小学校は、国語、算数、理科の調査を行いました。福井県は、3科目とも正答率が全国平均を上回っています。
本町においては、3科目とも全国平均を下回っており、今後の課題とされます。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国 語

- 意図に応じて話の内容を捉えること
- 順序を考えながら読み、内容を捉えること
- △目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けること
- △集めた材料を関連付けて内容を検討すること

算 数

- 目的に応じてグラフデータの特徴や傾向をとらえること
- △分数の意味理解を答えること

理 科

- 根拠を基に自然現象の変化の原因について予想して表現すること
- △観察器具の適切な操作や、実験を通じて身につける知識を答えること

【中学校】

■中学校は、国語、数学、理科の調査を行いました。福井県は、3科目とも正答率が全国平均を上回っています。

本町においては、国語と数学は全国平均を下回っていますが、理科は全国平均を上回っています。国語は県平均と僅差の結果でしたが、数学と理科に課題が見られます。

教科ごとの傾向

○…良好と考えられること △…課題と考えられること

国 語

- 物語文における登場人物の設定を捉えること
- △語彙を理解すること
- △読み手の立場に立って表記や叙述の仕方などを確かめて文章を整えること

数 学

- 多角形の外角の意味を理解すること
- 確率を求めること
- △式の意味を読み取って説明すること
- △事柄が成り立つことを証明すること

理 科

- 身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を理解するための適切な課題を設定すること
- △既習の知識・技能を基に結果を分析すること
- △生命を維持する働きについて答えること

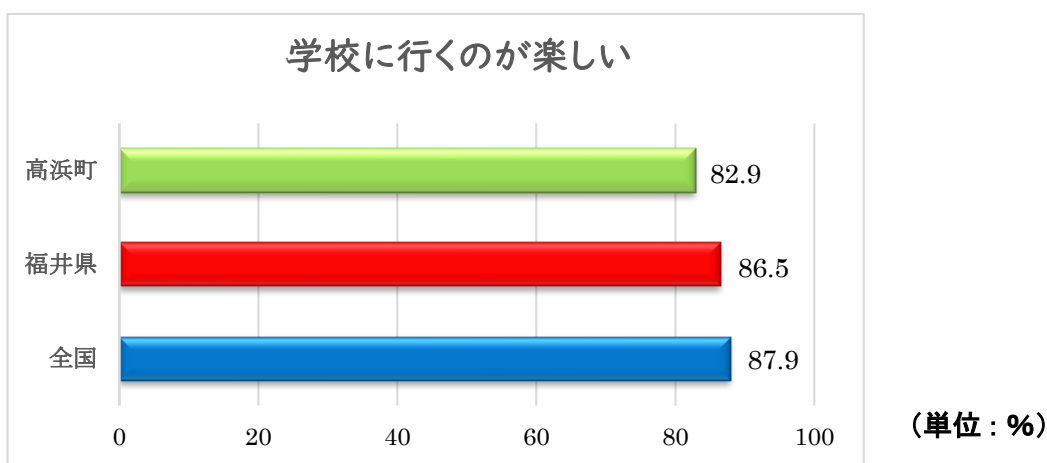
※令和7年度の調査から中学校理科の調査ではIRT (Item Response Theory 項目反応理論) が導入されました。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるものなのかを区別して分析し、学力スコアを推定する統計理論です。

小学生

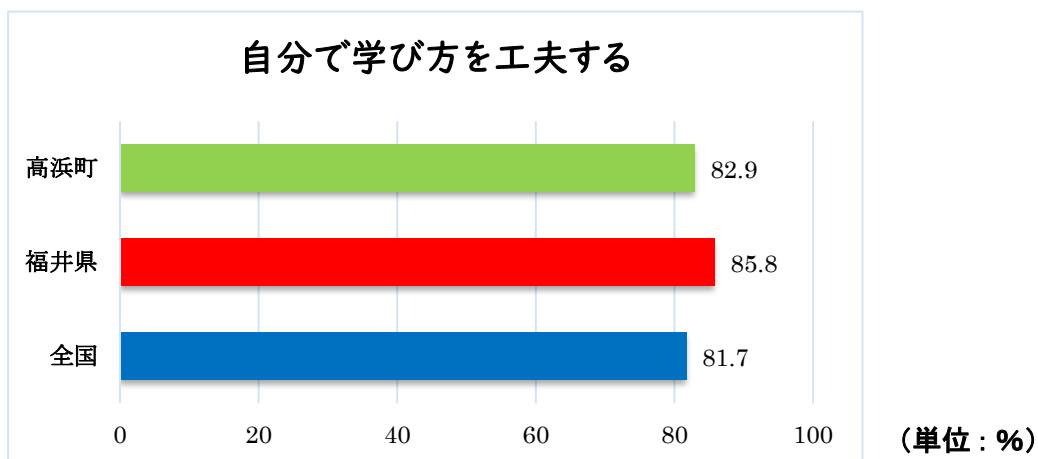
○…良好と考えられること △…課題と考えられること □…改善がみられたこと

【学習習慣等に関する調査結果】

△「学校に行くのは楽しいと思いますか」という問いに対して「楽しいと思う」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均、県平均を下回っています。今後の課題の一つとして取り組みます。



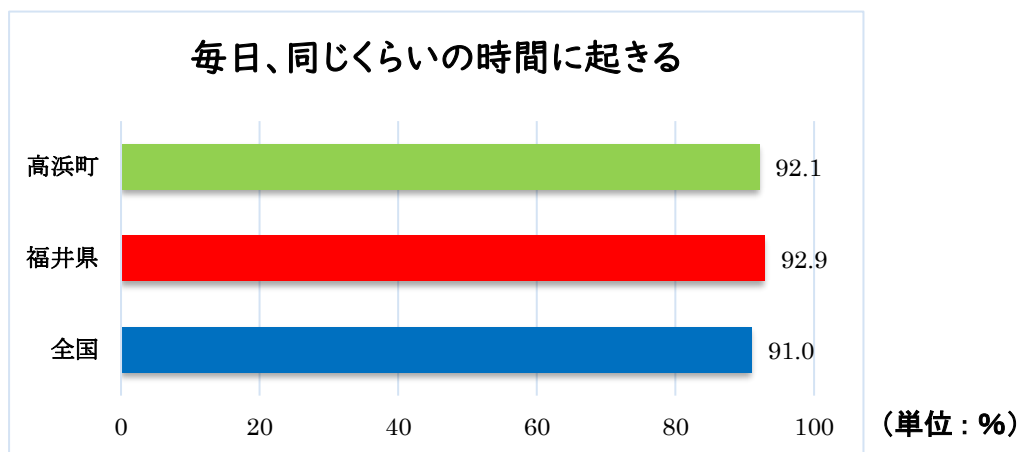
□「分からないことやわしくしりたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することは出来ますか」という問いに対して「出来ている」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均を上回っていますが、県平均をやや下回っています。高浜町の児童は、分からないことやより詳しく知りたいと思うことがあった時は、自分で創意工夫をしながら学びを深めていく力があるといえます。



【生活習慣に関する調査結果】

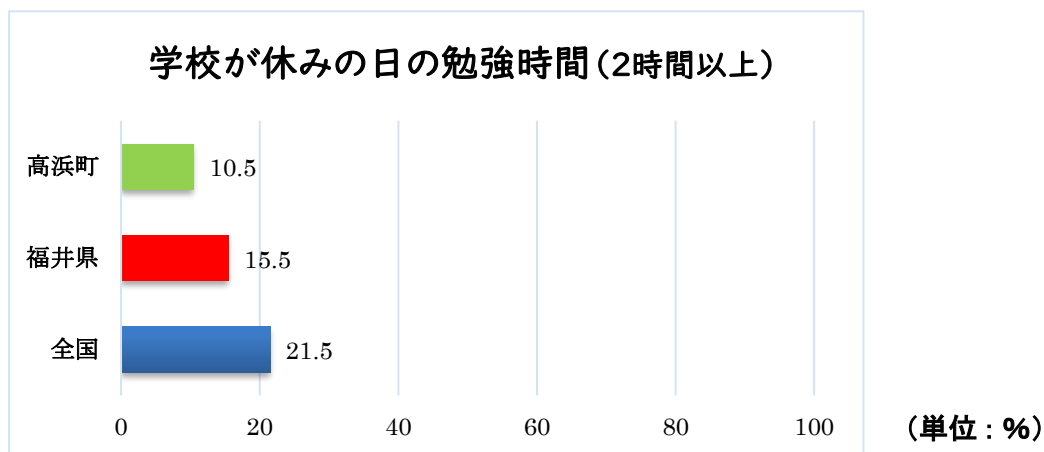
○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という問いに対して「起きている」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均を上回っていますが、県平均はわずかに下回っています。しかし、本質問は全国平均も県平均でも「起きている」割合が高く、毎日規則正しく同じくらい時間に起きていますと言えます。

他の生活習慣の質問の中で「朝食を毎日食べていますか」という問いに対して「食べている」と答えた児童の割合は、高浜町は全国平均も県平均も上回る96.1%となり、基本的な生活習慣が身についていると言えます。



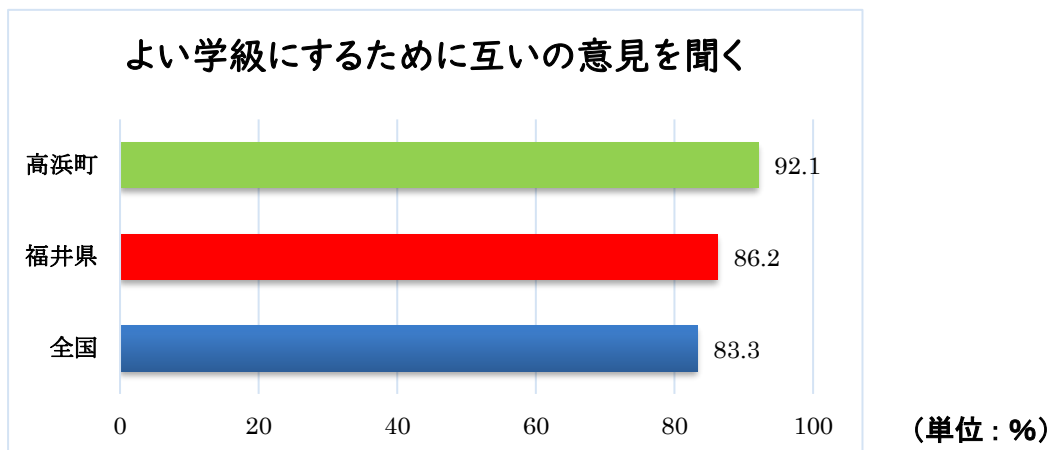
△「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強をしますか」(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)で「2時間以上勉強をしている」と答えた児童の割合は、全国平均も県平均も下回っています。高浜町の児童は、学校が休みの日は勉強よりもゲームやスポーツ、友達と遊んでいることなどが多いようです。

全国平均も県平均も本質問の「2時間以上している」児童の割合は低いと言えます。

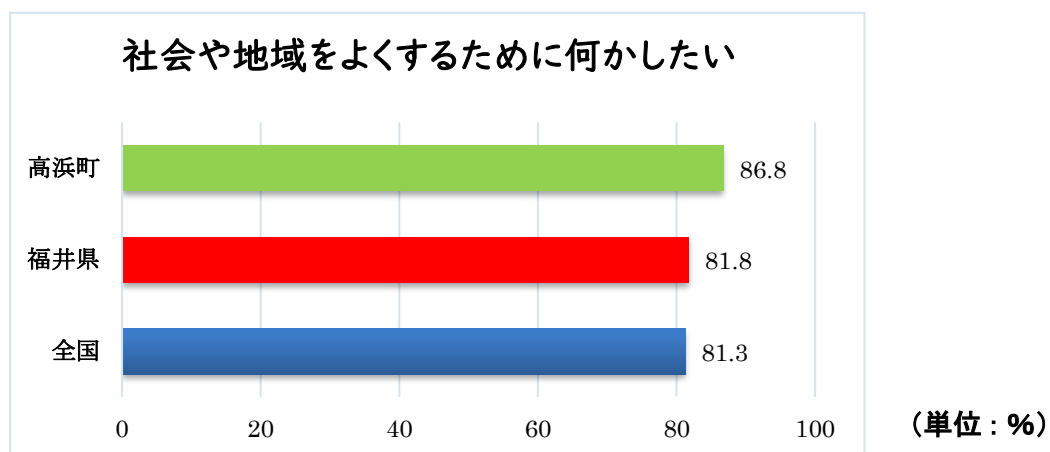


【学校生活、地域との関わりに関する調査結果】

○「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか」という問いに「決めている」と答えた児童の割合は全国平均も県平均も上回っています。高浜町の児童は、学級会の中でクラスメイトの意見に耳を傾け、学級にとってよりよい解決法を決める力があるようです。



○「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」という問いに「してみたい」と答えた児童の割合は、全国平均も県平均も上回っています。学校での総合的な学習の中で海辺の環境を考える機会や浜辺の掃除ボランティアなどがあることを知り、学んだことや実際に自分も参加したことにより、「してみたい」と思う児童が増えたのではないかと思います。

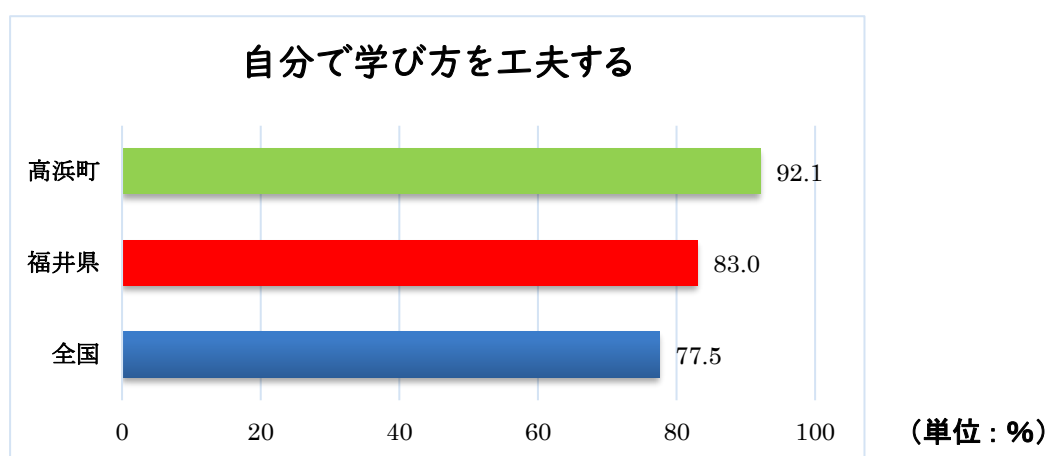


中学生

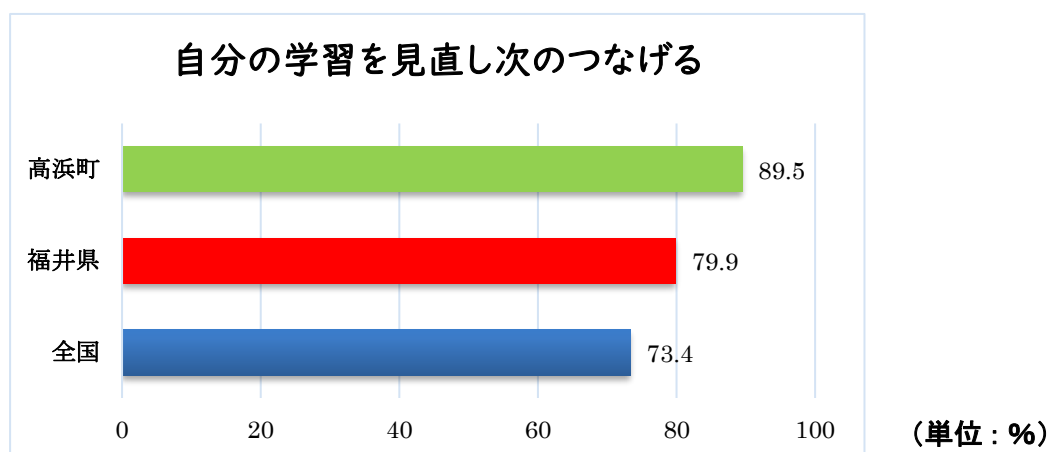
○…良好と考えられること △…課題と考えられること □…改善がみられたこと

【学習習慣等に関する調査結果】

○「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる」という問いに「工夫することができる」と答えた生徒の割合は、全国平均も県平均も上回っています。高浜町の生徒は、自分が持った疑問に対して直ぐに誰かに聞くのではなく、まずは自分で疑問の解決の仕方を考える主体的な学習ができる生徒が多いのではないかと思います。

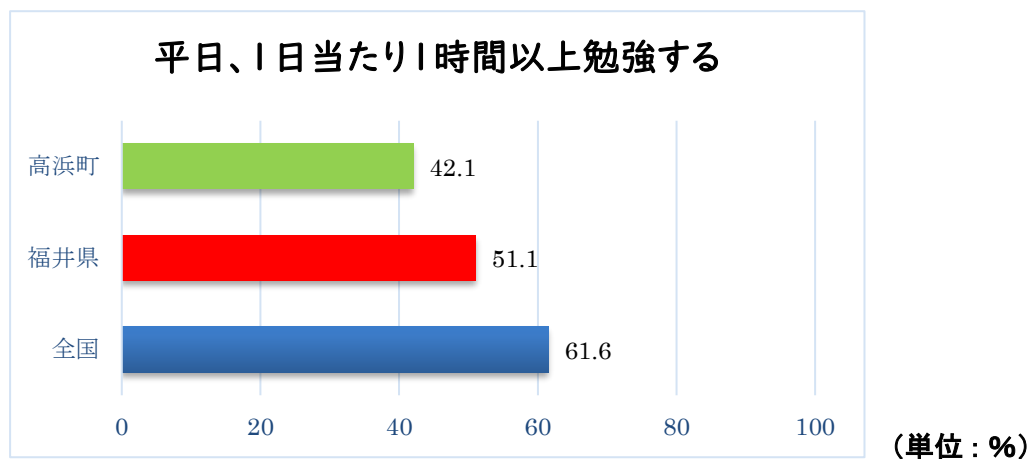


○「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」という問いに「つなげられている」と答えた生徒の割合は、全国平均も県平均も上回っています。特に全国平均と比べると16%も上回っています。高浜町の生徒は、日々の学習やテストを通じて、自分の学習理解度をよく理解していて、次の学習の機会につなげていける生徒が多いと言えます。

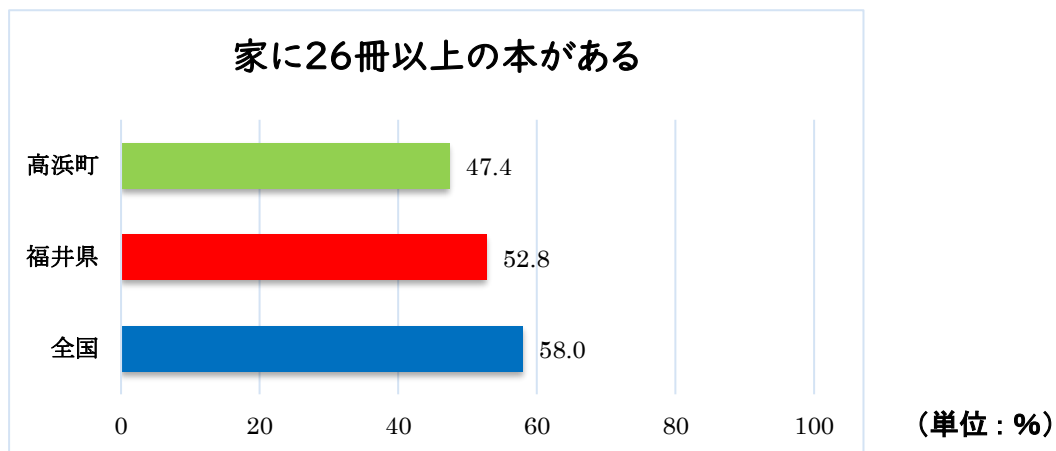


【生活習慣に関する調査結果】

△「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか」（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（1時間以上）」という問いに「（1時間以上）している」と答えた生徒の割合は、全国平均も県平均も下回っています。休日も含めて毎日の学習習慣をつけることが課題であるといえます。

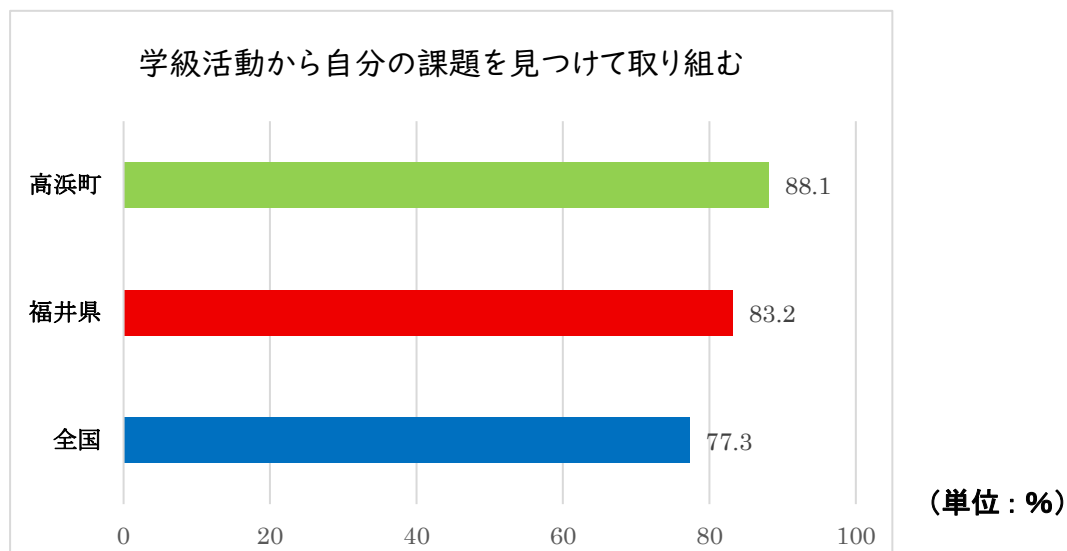


△「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか」（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）（26冊以上）」という問いに「（26冊以上）ある」と答えた割合は、全国平均も県平均も下回っています。現在では、スマホやタブレットで電子書籍を読む人が多く、本が家にある家庭は減ってきているようです。電子書籍は確かに便利ですが、長時間見ることによる視力の低下などの懸念があります。本を通じて得た知識は自分の財産となります。高浜町の生徒には、家族と共に本の手触りを楽しみながら読書を楽しんでもらいたいと思います。

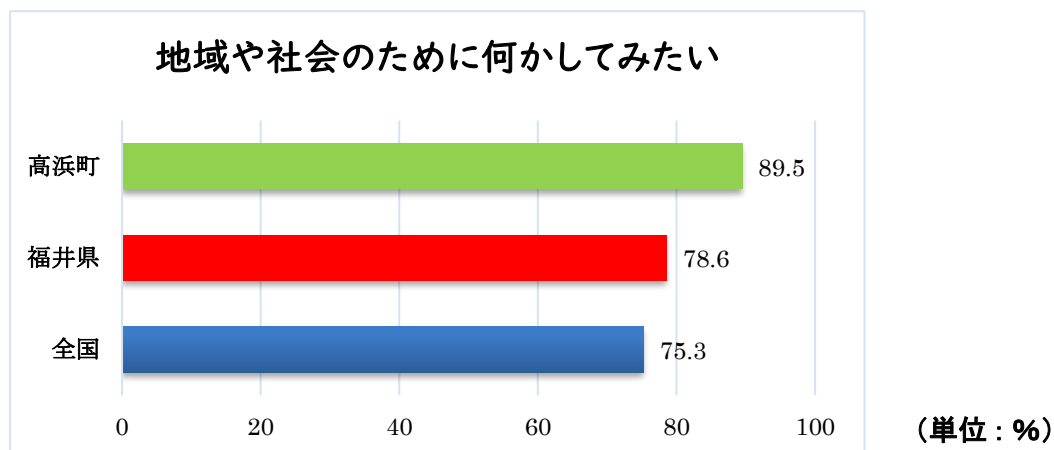


【学校生活、地域との関わりに関する調査結果】

□「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」という問いに「取り組んでいる」と答えた割合は、9割近くあり全国平均も県平均も上回っています。高浜町の生徒は、学級の話し合いの中から自分の改善や努力すべき点を見つけ出し、積極的に取り組んでいると思われます。



○「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに対して「やってみたい」と答えた生徒の割合は約9割で、全国平均も県平均も上回っています。高浜町の生徒は「総合的な学習」で地域の歴史や産業、課題などをテーマとしています。その学習を通じて「地域や社会のために何かしてみたい」という思いを持ったのではないのでしょうか。



保護者のみなさまへ ～ ご協力をお願いします ～

- 学校のできごとなど、子どもの話に耳を傾けて聞きましょう。
- 明日の予定などを話題にし、見通しをもって生活するよう意識づけましょう。
- 自分からすすんで勉強できる環境づくりをしましょう。
- 家族で新聞や本を読んで、世界や日本で起こっている出来事に興味をもちましょう。
- ゲームやテレビ、スマートフォンや携帯電話の使用ルールを決めましょう。

正しい習慣を身につけ、自分の行動を自分で律する力をつけることが、学力向上につながります。

